

平成21年3月期 第3四半期決算短信

平成21年2月12日

上場会社名 日本プリメックス
 コード番号 2795 URL <http://www.prime.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中川善司
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼人事部長 (氏名) 清水浩久
 四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

上場取引所 JQ

TEL 03-3750-1234

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第3四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第3四半期	3,623	△11.2	147	△60.1	55	△85.7	30	△86.9
20年3月期第3四半期	4,082	△15.2	370	△36.3	388	△38.5	235	△38.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第3四半期	5.73	—
20年3月期第3四半期	43.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	%
21年3月期第3四半期	5,904	71.8	4,237	71.8	—	—	788.32	71.8
20年3月期	6,175	70.8	4,373	70.8	—	—	808.65	70.8

(参考) 自己資本 21年3月期第3四半期 4,237百万円 20年3月期 4,373百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
21年3月期	—	0.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,610	△13.8	140	△69.8	71	△79.6	32	△84.6	5.94

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
 ② ①以外の変更 無
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第3四半期 5,523,592株 20年3月期 5,523,592株
 ② 期末自己株式数 21年3月期第3四半期 148,600株 20年3月期 115,200株
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第3四半期 5,389,322株 20年3月期第3四半期 5,448,942株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が本資料の発表日現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。

また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

[定性的情報・財務諸表等]

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、米国に端を発した金融市場の世界的混乱、株式市場の大幅な変動、急激な円高の影響などにより、企業収益の大幅な減少、設備投資の減少、雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など景気は一層の下振れ懸念が高まる状況で推移いたしました。

このような事業環境のなかで、当社グループでは、業容の拡大をめざし、営業部門では国内・海外の幅広い顧客への積極的な販売活動を展開するとともに、工場部門ではオリジナル新製品の開発・生産能力の強化に取り組んでまいりましたが、国内・海外ともに景気減退の影響を受け厳しい受注環境で推移してまいりました。

この結果、当第 3 四半期連結累計期間における業績につきましては、連結売上高 36 億 23 百万円(前年同期比 11.2%減)となりました。また、利益面におきましては、売上高の減少、競争激化による販売価格の低下、急激な円高等の影響により、連結営業利益 1 億 47 百万円(前年同期比 60.1%減)、連結経常利益 55 百万円(前年同期比 85.7%減)、連結四半期純利益 30 百万円(前年同期比 86.9%減)と、売上・利益とも前年同期を下回る水準となりました。

なお、前年同四半期増減率は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産額は 59 億 4 百万円となり、前連結会計年度と比較して 2 億 70 百万円減少いたしました。主な要因は、現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少等によるものであります。また、負債では、支払手形及び買掛金の減少 1 億 64 百万円によるものであります。

純資産は、利益剰余金 1 億 4 百万円の減少となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第 3 四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、(以下「資金」という。)前連結会計年度末に比べ 87 百万円増加し 19 億 67 百万円となりました。

当第 3 四半期連結会計期間末における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は、1 億 1 百万円となりました。これは主として税金等調整前四半期純利益の計上 54 百万円及び売上債権の減少 85 百万円の一方で仕入債務の減少 1 億 64 百万円、法人税等の支払額 1 億円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、2 億 4 百万円となりました。これは主として定期預金の払戻による収入 5 億 50 百万円が定期預金の預入による支出 3 億 50 百万円を上回ったこと、及び有価証券取得による支出 1 億 91 百万円、投資有価証券の償還による収入 3 億円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は 1 億 53 百万円であり、これは配当金の支払による支出 1 億 35 百

万円、自己株式の取得による支出 18 百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

国内外の経済情勢は、世界的な金融危機、株価の大幅な下落、急激な為替変動（米国ドル安）等により、世界同時不況の様相を呈しており、当社を取り巻く環境は、国内・海外とも極めて厳しい状況にあります。

このような状況のなか、当社グループは受注高の確保に向け、営業戦力の増強、メーカー向け営業の強化、自社製品の積極的な開発を図り、今後とも業績向上に取り組んで参る所存であります。

平成 21 年 3 月期通期の業績につきましては、国内、海外とも受注状況が低調な推移であり、下期における急激な受注の回復は見込めず、売上高は前期比減収の予想であります。利益につきましても、減収による収益の悪化に加え、円高による輸出売上高の採算悪化等の影響が今後とも見込まれるため、営業利益・経常利益・当期純利益ともに減益の見通しであります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続・表示方法等の変更

(四半期財務諸表に関する会計基準等の適用)

第 1 四半期連結会計期間より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第 12 号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 14 号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(棚卸資産の評価に関する会計基準の適用)

棚卸資産については、従来移動平均法による原価法によっておりましたが、第 1 四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第 9 号 平成 18 年 7 月 5 日）が適用されたことに伴い、移動平均法による原価法（収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。この変更に伴う損益に与える影響はありません。

(リース取引に関する会計基準等の適用)

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成 5 年 6 月 17 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日企業会計基準第 13 号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基

準委員会 平成 6 年 1 月 18 日 最終改正平成 19 年 3 月 30 日 企業会計基準適用指針第 16 号) を 第 1 四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとする定額法を採用することとしております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この変更に伴う損益に与える影響はありません。

5.【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,177,140	2,289,769
受取手形及び売掛金	1,250,510	1,335,832
有価証券	191,198	-
商品及び製品	287,047	341,169
仕掛品	45,925	32,453
原材料及び貯蔵品	123,590	130,985
繰延税金資産	26,949	25,831
その他	35,049	31,976
貸倒引当金	4,777	1,958
流動資産合計	4,132,633	4,186,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	392,765	413,388
機械装置及び運搬具(純額)	8,493	11,548
工具、器具及び備品(純額)	10,761	13,602
土地	934,341	934,341
その他	49,523	-
有形固定資産合計	1,395,886	1,372,880
無形固定資産		
投資その他の資産	2,600	2,803
投資有価証券	206,856	493,486
繰延税金資産	149,474	106,152
その他	27,531	16,501
貸倒引当金	10,359	2,616
投資その他の資産合計	373,501	613,524
固定資産合計	1,771,987	1,989,208
資産合計	5,904,621	6,175,267
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,184,053	1,348,451
短期借入金	180,000	180,000
未払法人税等	455	16,812
賞与引当金	11,791	45,456
その他	92,982	59,874
流動負債合計	1,469,282	1,650,595
固定負債		
退職給付引当金	83,374	74,582
役員退職慰労引当金	83,170	76,110

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成20年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
その他	31,553	500
固定負債合計	198,099	151,192
負債合計	1,667,381	1,801,788
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,997	393,997
資本剰余金	283,095	283,095
利益剰余金	3,687,406	3,791,744
自己株式	113,098	94,613
株主資本合計	4,251,401	4,374,224
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金	14,161	745
評価・換算差額等合計	14,161	745
純資産合計	4,237,239	4,373,478
負債純資産合計	5,904,621	6,175,267

(2)【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)
売上高	3,623,342
売上原価	2,752,171
売上総利益	871,170
販売費及び一般管理費	723,252
営業利益	147,917
営業外収益	
受取利息	40,046
その他	7,281
営業外収益合計	47,328
営業外費用	
支払利息	1,562
投資有価証券評価損	63,172
為替差損	74,612
その他	303
営業外費用合計	139,650
経常利益	55,595
特別利益	
貸倒引当金戻入額	471
特別利益合計	471
特別損失	
固定資産除却損	55
投資有価証券評価損	1,759
特別損失合計	1,815
税金等調整前四半期純利益	54,252
法人税、住民税及び事業税	58,851
法人税等調整額	35,471
法人税等合計	23,380
四半期純利益	30,872

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

当第3四半期連結累計期間
 (自平成20年4月1日
 至平成20年12月31日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	54,252
減価償却費	30,047
退職給付引当金の増減額(は減少)	8,792
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	7,059
賞与引当金の増減額(は減少)	33,665
貸倒引当金の増減額(は減少)	10,561
受取利息及び受取配当金	40,046
為替差損益(は益)	64,973
投資有価証券評価損益(は益)	63,172
売上債権の増減額(は増加)	85,322
たな卸資産の増減額(は増加)	48,044
仕入債務の増減額(は減少)	164,397
未払消費税等の増減額(は減少)	6,625
その他	35,842
小計	163,332
利息及び配当金の受取額	40,630
利息の支払額	1,562
法人税等の支払額	100,911
営業活動によるキャッシュ・フロー	101,489
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の取得による支出	191,198
定期預金の預入による支出	350,521
定期預金の払戻による収入	550,836
有形固定資産の取得による支出	2,930
投資有価証券の取得による支出	100,845
投資有価証券の償還による収入	300,000
その他	476
投資活動によるキャッシュ・フロー	204,864
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	135,209
自己株式の取得による支出	18,485
財務活動によるキャッシュ・フロー	153,695
現金及び現金同等物に係る換算差額	64,973
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	87,685
現金及び現金同等物の期首残高	1,879,454
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,967,140

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第 3 四半期連結会計期間（自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第 3 四半期連結累計期間において、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「プリンタ事業」の割合がいずれも90%を超えているため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

当第 3 四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

当第 3 四半期連結累計期間（自 平成20年 4 月1日 至 平成20年12月31日）

（単位：千円）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他	計
. 海外売上高	463,109	72,160	44,389	770	580,428
. 連結売上高					3,623,342
. 連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	12.8	2.0	1.2	0.0	16.0

(注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する国または地域の内訳は次のとおりであります。

- (1) アメリカ アメリカ、カナダ、南米
- (2) ヨーロッパ イギリス、ドイツ、フランス
- (3) アジア シンガポール、フィリピン
- (4) その他 オーストラリア、ニュージーランド

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦外の国または地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第 3 四半期連結会計期間（自 平成20年10月 1 日 至 平成20年12月31日）

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 前四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科 目	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
	金 額
売上高	4,082,531
売上原価	2,998,936
売上総利益	1,083,594
販売費及び一般管理費	713,232
営業利益	370,362
営業外収益	38,748
1 受取利息	27,484
2 受取家賃	2,116
3 為替差益	5,548
4 その他	3,598
営業外費用	20,982
1 支払利息	1,377
2 投資有価証券評価損	17,131
3 その他	2,474
経常利益	388,127
特別利益	5,818
1 貸倒引当金戻入益	4,308
2 固定資産売却益	1,509
特別損失	183
1 固定資産除却損	183
税金等調整前四半期 純利益	393,762
法人税、住民税及び事業税	159,234
法人税等調整額	884
四半期純利益	235,411

前四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年12月31日)
区分	金額(千円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前四半期純利益	393,762
2 減価償却費	35,920
3 退職給付引当金の増加額	1,986
4 役員退職慰労引当金の増加額	6,461
5 賞与引当金の減少額	34,209
6 貸倒引当金の減少額	7,122
7 受取利息及び受取配当金	27,484
8 為替差益	18,357
9 有形固定資産売却益	1,509
10 投資有価証券評価損	17,131
11 売上債権の減少額	102,130
12 たな卸資産の増加額	108,117
13 仕入債務の減少額	162,062
14 未収消費税等の増加額	8,757
15 未払消費税等の減少額	994
16 その他	16,374
小計	205,149
17 利息及び配当金の受取額	29,987
18 利息の支払額	1,377
19 法人税等の支払額	281,011
営業活動によるキャッシュ・フロー	47,251
投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入による支出	400,850
2 定期預金の払戻による収入	400,771
3 有形固定資産の取得による支出	12,714
4 無形固定資産の取得による支出	549
5 有形固定資産の売却による収入	2,961
6 投資有価証券の取得による支出	267
7 その他	204
投資活動によるキャッシュ・フロー	10,852
財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 配当金の支払額	136,584
2 自己株式の取得による支出	29,657
財務活動によるキャッシュ・フロー	166,242
現金及び現金同等物に係る換算差額	18,357
現金及び現金同等物の減少額	205,989
現金及び現金同等物の期首残高	2,081,300
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,875,310

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間において、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める「プリンタ事業」の割合がいずれも90%を超えているため記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第 3 四半期連結累計期間において、本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第 3 四半期連結累計期間（自 平成19年 4 月1日 至 平成19年12月31日）

（単位：千円）

	アメリカ	ヨーロッパ	アジア	その他	計
・海外売上高	585,708	118,906	66,450	1,454	772,518
・連結売上高					4,082,531
・連結売上高に占める 海外売上高の割合（%）	14.4	2.9	1.6	0.0	18.9

- (注) 1 国または地域は、地理的近接度により区分しております。
 2 各区分に属する国または地域の内訳は次のとおりであります。
 (1) アメリカ アメリカ、カナダ、南米
 (2) ヨーロッパ イギリス、ドイツ、フランス
 (3) アジア シンガポール、フィリピン
 (4) その他 オーストラリア、ニュージーランド
 3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦外の国または地域における売上高であります。

6. その他の情報

(生産、受注及び販売の状況)

(1) 生産実績

当第 3 四半期連結累計期間における生産実績の製品区分は、次のとおりであります。

区分	生産高(千円)
ケース入りミニプリンタ	697,083
ミニプリンタ関連商品	106,008
合計	803,092

- (注) 1. 金額は、製造原価によっております。
2. 金額には、消費税等は含まれておりません。

(2) 受注実績

当第 3 四半期連結累計期間における受注高及び受注残高の実績を商品区分ごとに示すと、次のとおりであります。

区分	受注高(千円)	受注残高(千円)
ミニプリンタメカニズム	290,876	105,410
ケース入りミニプリンタ	1,968,942	210,691
ミニプリンタ関連商品	622,716	33,876
消耗品	334,211	22,240
大型プリンタ	75,149	5,676
その他	225,239	30,240
合計	3,517,133	408,133

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

当第 3 四半期連結累計期間における販売実績を商品区分ごとに示すと、次のとおりであります。

区分	販売高(千円)
ミニプリンタメカニズム	315,606
ケース入りミニプリンタ	2,006,543
ミニプリンタ関連商品	646,159
消耗品	331,799
大型プリンタ	73,156
その他	250,082
合計	3,623,342

(注) 金額には、消費税等は含まれておりません。